そうま 社協だより

ふれあいネットワーク

No.152

2018年 4 月15日

発行人 只 野 裕 一

発行：社会福祉法人相馬市社会福祉協議会　相馬市小泉字高池３５７（相馬市総合福祉センター内）

TEL 0244－36－5033　FAX 0244－36－3109　http://www.soma-syakyo.com

▲相馬市連合商栄会のみなさん

▲一般社団法人 Active Support のみなさん

▲四国八十八ヶ所霊場会青年部のみなさん

▲スポーツ吹矢サークル　ポラリス相馬のみなさん

まごころありがとう【H30.2.1 ～ H30.3.31】

社会福祉協議会の地域福祉事業に役立ててくださいと。…と次の方々から心温まる“まごころ”が寄せられました。

この寄付金は、本会が行う住民主体の地域づくり活動の貴重な財源として、有効に活用させていただきます。

【社協活動資金に…】

- 一般社団法人 Active Support　代表理事／三浦和子　様（馬場野）
- 相馬市連合商栄会　会長／西村年晴　様（中村）
- 浅川勝行様（小野）
- 菅野ミツ子　様、菊地ゆきい　様、横山文子　様
- 建藤洋悦　様（新田）
- スポーツ吹矢サークル　ポラリス相馬　会長／板倉素子　様（中村）

【福祉活動に…】

- 飯尾幸子　様（横浜市）／折りひな一式
- 四国八十八ヶ所霊場会青年部　様（愛媛県）／タオル４６５本
- 鹿児島県スプレー菊研究会　様（鹿児島県）／スプレー菊２００本

平成30年度 事業計画と予算のあらまし

基本方針

今日の社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢社会の進行や人口の減少等を背景に、地域社会を取り巻く状況や家族の形態も大きく変化してきています。

政府が「一億総活躍プラン」で提唱した「地域共生社会」の実現をめざし、住民が主体的に地域課題を把握し解決するための仕組みづくりと、複合化・複雑化した課題を受け止めるための包括的・総合的な相談支援体制の確立に向けた地域福祉施策がすすめられている。こうした流れのなかで、生活困窮者自立支援制度や介護保険制度の見直し、社会福祉法の改正など、社会福祉施策全般にわたり地域福祉の推進を志向した改革が進められています。

こうした中、長年にわたり地域に根ざした活動を展開してきた相馬市社会福祉協議会はこれまでの実践により培ってきたノウハウや様々な活動主体や機関とのネットワークを活かしながら、公共性の高い民間団体として、さまざまな社会参加の場づくりや共に支え合う「地域づくり」も視野に入れ、地域力を高めながら「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を活動理念に掲げ、地域住民を始め、民生児童委員や社会福祉関係機関・団体、ボランティア及び保健・医療等の関係領域と連携を図りながら、相馬市総合福祉センター（愛称：はまなす館）を活動の拠点として、次の実施項目の事業に取り組んでまいります。

実施事業

1. 法人運営

⑴組織体制充実と活動強化
①理事会、評議員会の開催及びガバナンス機能強化
②監事会の開催
③事務局組織体制の整備・拡充
④行政区長、民生児童委員及び福祉関係機関・団体、ボランティア及び関連領域の機関・団体等との連携
⑤職員の専門性を高めるための各種の研修会・講習会への派遣
⑥社会福祉士及び介護支援専門員等の資格取得の奨励
⑵財政基盤の確立
①会員の加入促進
②社協〝社会福祉基金〟の確保
③公費（市補助金・市委託金）の導入
④共同募金運動の展開
⑤介護保険事業の健全なる経営

2. 市民のしあわせを高めるための活動

⑴総合福祉センターの管理運営
⑵生活援助資金貸付事業
⑶生活福祉資金貸付事業
⑷日常生活自立支援（愛称：あんしんサポート）事業
⑸生活困窮者自立支援事業
⑹権利擁護・ほっとネット協力員養成講座事業
⑺無料法律相談の実施

3. 広報啓発活動の充実

⑴社協だよりの定期的な発行
⑵要援護者の実態把握及び対象者のニーズに対応した事業の企画

4. 社会福祉事業の推進

⑴地域福祉・在宅福祉事業
①在宅福祉・地域福祉活動団体との連絡調整会の開催
②先進地社協視察研修を実施
③福祉出前講座の開催
・目の不自由さ体験講座
・車椅子体験講座
・高齢者疑似体験講座
・介護講座
・認知症サポーター養成講座
・骨太けんこう体操
⑵民生委員児童委員協議会活動
⑶社協感謝のつどい「はまなす館まつり」の開催
⑷災害時相互支援活動等の推進
⑸第72回福島県社会福祉大会への参加（南相馬市にて開催）

5. 生活復興支援室事業の推進

6. 高齢者福祉事業の推進

⑴地域包括支援センター事業
⑵生活支援体制整備事業
⑶認知症施策推進事業
⑷認知症サポーター養成講座開催事業
⑸地域介護予防活動支援事業
⑹食事サービス事業
⑺老人クラブ連合会事業
⑻福祉バス運行事業
⑼ふれあい電話訪問事業
⑽ふれあい会食会事業
⑾車椅子同乗軽自動車貸出事業

7. 児童福祉事業の推進

⑴児童生徒のボランティア協力校事業
⑵地域子育て支援事業への協力

8. 障がい者福祉事業の推進

⑴障がい者総合支援事業
⑵声の広報事業
⑶車椅子同乗軽自動車貸出事業（再掲）
⑷身体障がい者福祉会事業

9. ボランティア養成研修事業の推進

⑴サマーボランティアスクールの開校
⑵ボランティア養成研修事業
⑶福祉体験（高齢者等疑似体験など）教室事業
⑷生活支援ボランティアの育成

10. 介護保険事業の推進

⑴居宅介護支援（相馬市在宅介護支援センター）事業
⑵通所（第1号通所）介護（デイサービスセンター）事業

11. 第三者委員（苦情解決取扱）活動の推進

12. 日本赤十字社事業の推進

(1) 赤十字思想の普及と社員増強運動の推進

(2) 赤十字奉仕団及び赤十字有功会の事務局の運営並びに支援

(3) 赤十字奉仕団、献血推進協議会及び赤十字有功会に対する助成

(4) 罹災者（世帯）に対する救援物資の支給

13. 共同募金委員会事業の推進

(1) 共同募金運動、歳末たすけあい募金運動の推進

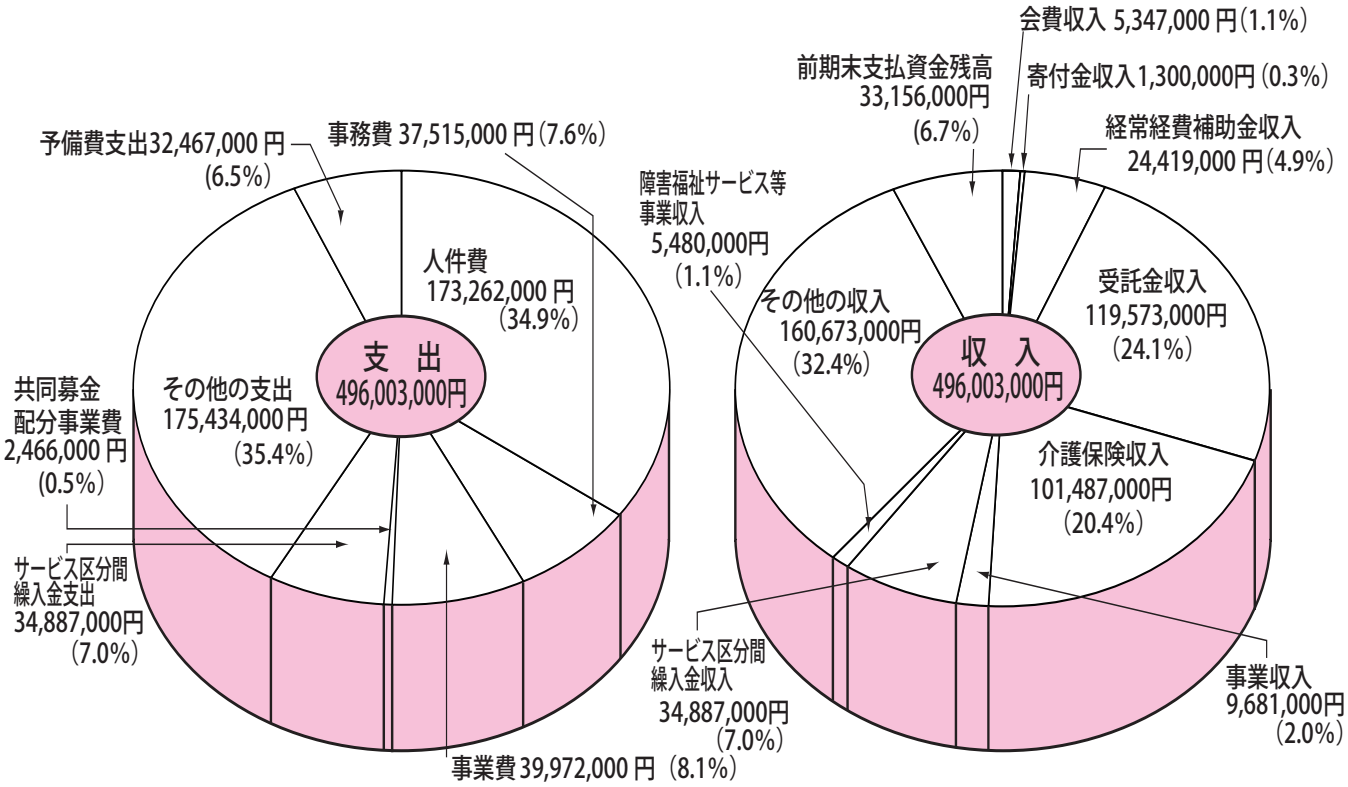
(2) 罹災者（世帯）に対する災害見舞金の支給

14. その他の活動

(1) 福祉団体及びボランティア団体等に対する協力

(2) 各種福祉団体等に対する運営費の助成

平成30年度の予算状況



予防が大事
―消防訓練を実施―

平成30年2月27日（火）に、相馬市総合福祉センターにおいて、今年度、2回目の消防訓練を実施しました。

地震によりデイサービスセンター厨房から出火したと想定で、避難誘導・水消火器を使った初期消火等、本番さながらの訓練を行いました。

地震・火災が発生した場合に、一連の行動が適切にできるよう、真剣な表情で訓練に臨みました。

平成 29 年度
共同募金運動結果報告

昨年の 10 月 1 日から 3 月 31 日まで全国一斉に実施いたしました赤い羽根共同募金運動は、市民の皆さんのご理解とご協力により、無事終了することができました。

お寄せいただきました善意の募金は、地域で孤立する人々の生活課題や福祉課題解決のため、また、地域の子ども達や高齢者、障がい者などを支援する様々な福祉活動や災害時の災害ボランティアセンターの設置や運営、被災者支援など広範囲な福祉活動の貴重な財源に助成されます。

今後とも、共同募金運動への変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、ここにご報告いたします。

▼大口（法人）募金

事業所名	金額	事業所名	金額
わたなべ歯科クリニック	10,000	相馬共同火力発電㈱	10,000
㈲木下タイヤ商会	10,000	フジモールド工業㈱	10,000
ふなばし内科クリニック	10,000	早川電気工業㈱	10,000
㈱東北エスケー商会	10,000	光洋電設㈱	10,000
㈲シネハモータース	10,000	旭電設工業㈱	10,000
㈲ニイツマフーズ	10,000	小野内工務店㈱	10,000
特殊メタル㈱	10,000	宗教法人慶徳寺	10,000
㈱まつもと	10,000	長命寺	10,000
伊東建設工業㈱	10,000	正西寺	10,000
㈱鳥久	10,000	蒼龍寺	10,000
㈲中央環境	20,000	㈱キクチ	10,000
㈱福装	10,000	㈱高良相馬営業所	10,000
㈱東北三之橋相馬工場	10,000	花塚熱学工業㈲	10,000
㈱アリーナ	10,000	医療法人社団茶畑会 相馬中央病院	10,000
あぶくま信用金庫相馬支店	10,000	そうま広域シルバー人材センター	10,000
キンセイマテック㈱	10,000	相馬市ガス㈱	10,000
㈱シイヤメッキ	10,000	IHI相馬事業所	10,000
山内工業㈱	10,000	ほこだて仏光堂	10,000
㈲協大	10,000		
阿部クリニック	10,000	合計	390,000

一順不同・敬称略一　単位：円

▼戸別募金

地区名	金額
中村西部地区	1,057,960
中村中部地区	577,600
中村東部地区	287,800
大野地区	750,500
飯豊地区	410,000
八幡地区	275,000
山上地区	194,500
磯部地区	115,260
日立木地区	227,090
玉野地区	68,500
合計	3,964,210

単位：円

▼職域募金

事業所名	金額	事業所名	金額	事業所名	金額
相馬市役所	142,000	中村第一中学校	8,000	ゆうゆうクラブ	5,000
相馬広域水道企業団	11,500	向陽中学校	16,000	㈱まつもと	10,000
公立相馬総合病院	104,000	磯部中学校	5,500	旭電設工業㈱	10,000
相馬方部衛生組合	6,000	みなと保育園	18,000	ふなばし内科クリニック	10,000
相馬看護専門学校	9,500	中村報徳保育園	17,500	相馬共同火力発電㈱	46,500
相馬支援学校	23,500	さくらがおか保育園	11,500	フジモールド㈱	13,500
相馬税務署	5,000	みどり幼稚園	9,000	㈱高良相馬営業所	2,500
相馬労働基準監督署	500	中村幼稚園	10,000	花塚熱学工業㈲	5,000
福島県立相馬高等学校	1,000	大野幼稚園	500	東邦銀行	6,000
介護老人保健施設 森の都	5,000	日立木幼稚園	500	福島銀行	5,000
社会福祉法人相双記念会	5,000	相馬市社会福祉協議会	19,500	㈱鳥久	5,000
ベテランズ・サークル	5,000	㈲ニイツマフーズ	5,000	天王院	2,000
相馬福祉会	40,000	㈱キクチ	20,000		
大野小学校	6,500	㈱アリーナ	5,000		
飯豊小学校	9,000	医療法人相馬中央病院	8,000	合計	648,000

一順不同・敬称略一　単位：円

デイサービスセンターからのお知らせ

４月から…
月曜日は《はまなす元気塾》
“介護予防の方”を対象とした第１号通所介護にとなります。
大きなお風呂に入りたい方、みんなでワイワイと楽しく過ごされたい方、静かに読書されたい方など、《自分のやりたいこと》に沿えるプログラム。

火曜日～金曜日は《はまなすの集い》
“要介護の方”を対象とした通所介護になります。

個別機能訓練を取り入れ、利用者に選んでいただく《クラブ活動》を中心に様々なプログラム。

利用者の生活機能の維持・向上を図るため機能訓練指導員による、個別機能訓練を行います。機能訓練を通して張りのある生活をしていきませんか？

問い合わせ　相馬市デイサービスセンター
☎36－1915

▼個人・その他の募金

東部公民館	3,547
日立木小学校	19,456
募金箱など	6,742
合計	29,745

単位：円

実績額	5,363,504 円	※ 151 号（2 月 15 日発行）に掲載しました学校募金（331,549 円）も含めた実績金額です。

平成２９年度　歳末助け合い運動　結果報告

みなさんのご理解とご協力により実施いたしました「平成２９年度歳末たすけあい運動」の結果について、２０１８年２月１５日発行のそうま“社協だより”で、ご報告いたしましたが、その後に募金がありましたので、追加して再度お知らせいたします。
戸別募金が１件７２，５００円追加になり７６件３，９５３，６００円となりました。
それに伴い地域福祉サービス事業の配分が１０件３，２０８，３２８円と変更なります。

健康づくりはバランスのよい食事から

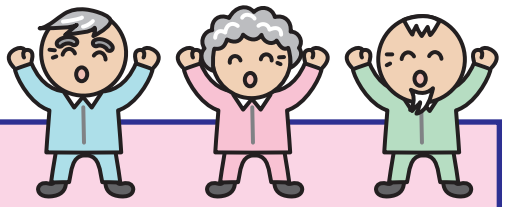
平成 30 年３月７日（水）相馬市総合福祉センター「はまなす館」において、公立相馬総合病院の管理栄養士沼田ひとみ先生を講師に迎え「健康づくりはバランス食から」～年齢に見合った食べ方をしよう～と題して、げんき応援教室を開催しました。
１日で食べたい野菜の量や塩分に気をつけること、減塩醤油等の正しい使い方などを学びました。また、食事や生活の中で注意が必要なこと、意識すること、今日からでも取り入れられることなどを教えていただきました。
参加者からは「３食を食べるだけではなくバランスよく食べるという意味を知りました」「香辛料や酢などを利用し減塩したい」などの感想が寄せられ、有意義な教室となりました。
地域包括支援センターでは、高齢者の身近な相談窓口としての活動や市民の皆様のお役に立てる講演会・出前講座なども開催していきますので、今後ともご理解ご協力をお願いします。

あなたの生活の「不安」や「心配」一人で悩まずご相談ください。

ほかにも「家計が毎月赤字どうしよう（家計が心配）」
「借金が多すぎる（債務が心配）」
「医療費や税金、家賃や公共料金が払えない（滞納が心配）」
「病気で生活に困っている（健康が心配）」
など、さまざまな心配ごとで生活に困っている方は、どなたでもご相談ください。

問い合せ先　生活サポート相談センター
E-mail:s-syakyo.support@trad.ocn.ne.jp
TEL　３６－２０１５

～健康寿命を延ばしてみませんか？～



◎骨太けんこう体操のお知らせ

相馬市にこの体操が誕生して１年が経ちました。現在は３０団体、３３０名の方々が楽しく取り組んでいます。

この体操の大切なポイントの１つに、「継続して取り組むこと」が挙げられます。みなさんの筋肉や関節などは、動かさないと徐々に衰えていきますが、いくつになっても鍛えることが可能です。

介護予防にみなさんで取り組み、これからも住み慣れた地域で元気に生活していきましょう！！

本会では、毎月第３月曜日の午後２時から「はまなす館」で体験教室を行っていますので、参加してください。また、出前講座も行っておりますので問い合わせください。

詳しいお問い合わせは　地域福祉係（担当…寺島）　☎３６－５０３３まで

◎刈敷田南公園『**骨太公園**』をご利用ください!!

みなさん刈敷田の住宅団地の中に骨太公園があるのをご存知ですか？健康寿命の延伸や認知症予防に効果があるといわれている８種類の運動器具が備え付けてあり、運動器（骨や筋肉など）の能力を向上させることができます。これから暖かくなる季節なので、お散歩やお出掛けがてら遊びに行ってみてください！！

認知症初期集中支援チームが動き出します!!

団塊の世代の方々が後期高齢となる２０２５年には、軽度の認知症の方が増加する恐れがあることから、認知症に特化した講習を受けた医師や福祉専門職で構成するチームが４月１日から動き出しました。

“もしかしたら…認知症？　どうしたらいいの？”と悩まずお気軽にご相談ください。

認知症初期集中支援チーム事務局　☎（０２４４）３６－５０３３

地域支え合い推進員がみつけた！

相馬のお宝ご紹介！！　NO. 4

相馬のお宝ご紹介では、地域にある様々な支え合いや活動を、地域のみなさんにご紹介していきます。今回は山上地区で開催した“地域座談会”の様子をご報告します。

相馬市の高齢化率は２９％を超えて、今後さらに高齢化は進行し、支える側と支えられる側のバランスは厳しくなることが予想されます。そんな中、介護保険サービスだけでは住み慣れた地域、自宅での生活は難しくなり、今後は、生活上のちょっとした困りごとを地域で支えていく取り組みが必要となります。

地域座談会では「自分が高齢になった時に、〇〇な支え合いがあるといいな…」を元気なうちから考え、地域での支え合いを広めるために開催します。市内全地域で開催を予定していますので、お住まいの地域での開催時には是非ご参加ください！

〇住み慣れた地域で元気に暮らし続けるために

２月２３日（金）に山上公民館で開催しました。

今回の座談会では、“３年後の山上地区について考えよう！”と３つのグループにわかれ、地域の中で予想される取り組みや〇〇だったら良いな～と思うことや課題などを付箋に書いて意見交換をしていただきました。

初めは、みなさん戸惑う様子もありましたが、次第に多くの意見が飛び交い、活発な話し合いが展開されました。

気になる課題や問題に対して“自分でできそうなこと“地域の人の支えあいによってできそうなこと“を一緒に考えていきます。

《はまなす館》をご利用ください！

はまなす館では、会議室を貸出ししています。少人数での打合せから講演会まで、幅広く利用可能です。どうぞ、ご利用ください。詳しくは問い合わせください。

利　用　料

区　分	使用時間及び利用料				
	午前９時から正午まで	午後１時から午後５時まで	午前９時から午後５時まで	午後６時から午後９時まで	午前９時から午後９時まで
多目的ホール	9，530円	12，700円	25，410円	9，530円	38，120円
第１会議室	1，050円	1，390円	2，780円	1，050円	4，200円
第２会議室	1，050円	1，390円	2，780円	1，050円	4，200円
第３会議室	1，670円	2，230円	4，450円	1，670円	6，660円
会議室・ボランティア	1，050円	1，390円	2，780円	1，050円	4，200円
教養娯楽室	2，270円	3，030円	6，050円	2，270円	9，080円
実習室	1，230円	1，640円	3，280円	1，230円	4，920円

※冷暖房使用時は、利用料の２割の額を加算します。

※キャンセル料は、申請日より利用料の20%かかります。また、利用日から５日以内は全額となります。

問合せ先

施設管理係

℡３６－１９０５

「ふれあい会食会」を開催しました！

市内にお一人で生活している高齢者の方々をお招きし、３月６日（火）相馬市総合福祉センター（はまなす館）において、今回で 30 回目となる“ふれあい会食会”を開催しました。

この会食会は、保育園児やボランティアと楽しいひと時を過ごすこと、また、友人と久しぶりに会ってお話しを楽しみながら、生きがいを持って生活していただくことを目的に実施しおよそ 120 名のご参加をいただきました。

只野裕一会長のあいさつの後、身近に潜む生活問題として「あなたもサギに狙われているかも」と題し、地域包括支援センター職員が説明。職員が作成した映像を見ながら、悪徳商法について学びました。参加者は真剣に映像を見ながら職員の説明に耳を傾けていました。

アトラクションでは、相馬保育園児によるお遊戯が披露され、参加者は温かく優しい眼差しで見入っていました。お遊戯の途中に園児からお花のプレゼントがあり、お話をしたり握手をしたりと楽しいふれあいの時間を持ちました。

続いて、公務の合間をぬって駆けつけていただいた原史朗市健康福祉部長と米山光喜市議会議長からあいさつをいただき、その後ボランティアグループ「JA ふくしま未来ふれ愛みどりの会」の方々が、前日から下ごしらえし、心を込めて調理されたお弁当を全員でいただきました。

昼食後は、参加者によるのど自慢でカラオケが披露されました。また、相馬市婦人会（ボランティア団体）による舞踊、プレゼントがあり大変な盛り上がりで、参加者全員が楽しいひと時を過ごしました。

▲講　話

▲園児からのプレゼント

▲園児からのプレゼント

▲会　食

▲会　食

▲相馬保育園のみなさん

☆協力団体（順不同・敬称略）

「JA ふくしま未来ふれ愛みどりの会」、「相馬市民生児童委員協議会」、「相馬保育園」、「相馬市婦人会」の各団体のみなさん、本当にありがとうございました。

▲ＪＡふくしま未来ふれ愛みどりの会のみなさん

▲相馬市民生児童委員協議会のみなさん

▲相馬市婦人会のみなさん